

# 視察報告書

令和8年1月19日・1月20日

立憲民主党西尾 細井まゆみ

## 【1日目】

視察先：シャボン玉石けん株式会社

視察日：令和8年1月19日

### 1. 視察目的

本視察は、無添加石けんの製造および環境負荷低減の取り組みに加え、生活排水が環境および水生生物に与える影響に関する実証的知見を把握し、今後の水環境保全施策および消費者政策の検討に資することを目的として実施したものである。



### 2. 視察先概要

シャボン玉石けん株式会社は、合成界面活性剤・香料・着色料等を使用しない無添加石けんの製造・販売を行う企業である。人体への安全性のみならず、水環境への影響低減を重視した製品開発を行っており、環境保全型企业としての取り組みを継続している。

### 3. 主な視察内容

#### (1) 製造工程の特徴

釜炊き製法による製造が行われており、化学添加物を使用しないことから、原料選定および工程管理が厳格に実施されている。

#### (2) 品質管理体制

各工程での品質検査体制が整備されており、安全性および品質の確保が徹底されている。また、消費者に対する情報開示の透明性が高い。

#### (3) 環境保全への取り組み

排水処理設備の適切な運用により水質保全が図られているほか、製品の生分解性の高さにより、生活排水として排出された後の環境負荷低減が期待される。

#### (4) 生活排水に関する実証実験プロジェクト

同社は、生活排水が河川・海域および水生生物に与える影響について、実証的に検証するプロジェクトを実施している。

このプロジェクトでは、合成洗剤を使用した場合と無添加石けんを使用した場合の排水を比較し、水質の変化や生物への影響を観察している。具体的には、魚類や微生物の生存状況、水の透明度、生分解の進行度などを指標として評価が行われている。

その結果、合成洗剤を含む排水は分解に時間を要し、水生生物への影響が見られる一方、無添加石けん由来の排水は比較的速やかに分解され、生物への影響が小さい傾向が確認されている。

これらの実証結果は、日常生活における洗浄製品の選択が水環境に直接的な影響を及ぼすことを示すものであり、環境配慮行動の重要性を裏付けるものといえる。

#### (5) 普及啓発活動

同社は、実証実験の結果を活用し、講演や見学受入れ等を通じて消費者への環境教育・啓発活動を積極的に実施している。

### 4. 所見

シャボン玉石けん株式会社の取り組みは、製品開発から排水後の環境影響までを一体的に捉えた先進的事例である。特に、生活排水の影響を可視化する実証実験は、環境政策の基礎資料として有用であり、科学的根拠に基づく普及啓発の重要性を示している。

特に生活排水が河川・海域および水生生物に与える影響について、実証的に検証するプロジェクトでは、本市の佐久島と照らし合わせ実験可能かどうかなど、とても興味深い内容であった。

今後本市において、生活排水による環境影響に関する調査・研究の推進・環境配慮型製品の選択を促す普及啓発施策の強化など進めていくうえで活かしていきたいと思う。



## 【2日目】

視察先：山口市役所（山口県）

視察日：令和8年1月20日



### 1. 視察目的

本視察は、地域における脱炭素型ライフスタイルの普及促進を目的とした「デコ活」の取組について、先進自治体の施策内容および推進手法を把握し、今後の地域脱炭素施策の検討に資することを目的として実施したものである。

### 2. デコ活の概要

「デコ活」は、環境省が推進する国民運動であり、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし」を創出することを目的としている。省エネルギー行動や再生可能エネルギーの活用、ライフスタイルの転換等を通じて、二酸化炭素排出量の削減を図る取組である。

### 3. 山口市における主な取組内容

#### (1) 普及啓発活動の展開

市民への認知向上を図るため、広報誌やウェブサイト、イベント等を活用した情報発信を実施している。特に、日常生活における具体的な行動（節電、公共交通の利用、食品ロス削減等）を分かりやすく提示している点が特徴である。

#### (2) 地域・事業者との連携

地元企業や団体と連携し、環境配慮型の製品・サービスの利用促進を図っている。また、事業者の自主的な脱炭素経営の取組を支援する仕組みが整備されている。

#### (3) 教育・人材育成

学校教育や地域講座を通じて、次世代を担う人材の育成に取り組んでいる。子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした環境教育が実施されている。

#### (4) 行動変容を促す仕組みづくり

ポイント制度や参加型イベント等により、市民が楽しみながら継続的に脱炭素行動に取り組める仕組みを導入している。これにより、単発的な啓発にとどまらず、行動の定着が図られている。

#### 4. 所見

山口市の取組は、単なる啓発にとどまらず、市民・事業者・行政が一体となった実践型の施策として評価できる。特に、具体的な行動メニューの提示と参加促進の仕組みが組み合わされており、行動変容につながりやすい設計となっている点がとてもよかった。

また、地域特性に応じた柔軟な取組が行われており、他自治体においても応用可能な要素が多いと考えられる。

今後本市においての市民の行動変容を促す具体的施策の導入検討や、地域事業者との連携強化による脱炭素の面的展開、学校教育と連動した環境意識作りなどができるよう、参考にして考えていきたい。

